

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	川西さくら園		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日		～ 2025年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 8月 18日		～ 2025年 8月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同伴通園なので、保護者と職員がお子さんの日々の姿と一緒に確認でき、保護者と共通理解のもと支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの行動の裏にある気持ちや行動の意味を、その都度保護者に伝えるようにしている。</li> <li>・保護者の思い等をその場でできとったり、必要に応じて面談を随時行っている。</li> <li>・保護者の目の前で、お子さんに対する支援の手本をみせたり、一緒に考えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も分離日を設けているが、今後も保護者の意向も確認しながらお子さんの年齢に合わせて、お子さんと保護者の負担とならない分離の頻度等を検討していく。</li> </ul>
2	保育士、セラピスト(PT・OT・ST)、看護等多職種で連携してこどもの発達を見極め、支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別または集団でのリハビリを実施。</li> <li>・クラス活動の中にリハビリ職員が入り、集団活動や給食での様子も踏まえて評価できるようにしている。</li> <li>・会議の場に限らず、日々情報共有や相談を随時おこなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別リハビリのニーズは高いため、在園人数と使用できる部屋の調整を行い、リハビリの頻度を検討していく。</li> </ul>
3	保護者同伴通園だからこそ、保護者同士がよりつながりをもてる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者交流会、OBの保護者との交流会を定期的に設け、地域別グループ等、クラス以外の異年齢のお子さんの保護者とも交流できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を確認しながら、保護者交流の機会の拡充をはかる。</li> <li>・保護者同士が楽しみながら交流できる、リフレッシュ講座を企画していく。</li> </ul>
4	卒園児の保護者から、情報収集できる機会がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園された保護者と交流できる機会を設け、卒園後の話をきいたり、繋がれる機会をつくっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を確認しながら、保護者交流の機会の拡充をはかる。</li> </ul>
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーではない箇所が多いことや、こども用のトイレの数やスペースに限りがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が古いため、バリアフリーに対応していない。</li> <li>・こども用トイレの増設やスペースの拡充は限られたスペースの中で行うことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建て替え等の抜本的な変更は今後も市と協議をすすめながら、事業所内の修理や、物品の整理、物の配置の見直しをする等、できることを続けていく。</li> </ul>
2	・きょうだい児支援が十分にできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日や運動会など、きょうだい児も参加できる行事を少しずつ増やしたが、きょうだい児を中心とした行事は開催できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい児の参加できる行事の拡大に向けて検討する。</li> <li>・きょうだい児の交流ができる機会について検討する。</li> </ul>
3	・HPなどで日々の活動の様子を発信できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の観点より活動報告などの情報を発信できてない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載写真など、個人情報に配慮した方法で、地域の方にも広く川西さくら園を知ってもらえるように、情報発信を行っていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		川西さくら園		公表日		2026年 2月 20日		利用児童数		31名		回収数		31	
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応								
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない										
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				・人数が多い時は2グループに分けて活動するなどスペースの確保をしたり、スペースを区切るなどして工夫している。 ・クラスの人数に対してトイレのスペースや手洗い場の数が少ない。	共有の部屋を調整しながら活用したり、グループを分けて活動するなど今後も工夫していきます。トイレに関しては数やスペースの拡充や増設は難しいため、2階のトイレの使用もおすすめして対応していきます。								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				・いろんな先生に相談が出来る環境。 ・給食時担任の先生だけではなく、フリーの先生やリハビリの先生方も見守ってくれている。 ・分離日は子ども同士がトラブルにならないように全体を見る職員がいてほしい。	職員の配置基準（お子さん4名に対して職員1名）は満たしており、必要な時には、フリーの職員が応援に入るようになっています。分離時は職員が全体を見ながら、また必要な時に応援を増やして対応していきます。								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				・こどもにわかりやすいように生活空間が作られている。 ・こどもたちが安全かつ集中できる過ごしやすい環境になっている。 ・視覚的に分かりやすく配慮されている。	引き続きお子さんにわかりやすく構造化して環境づくりを心がけていきます。バリアフリー化がされていないので、必要な個所には安全を心がけて、工夫して対応していきます。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				・部屋や廊下の床マットやトイレは毎日掃除して心で安心。 ・手の消毒の徹底、おもちゃは消毒など清潔面は問題なく安心して過ごせている。 ・おもちゃは絵柄が剥げていたり、園庭の乗り物も音が鳴らないものもあつたりする。	・遊具や物品の劣化等につきましては、確認し、点検、修理、買い換えが必要なものは対応していきます。 ・引き続き、手洗いや消毒・換気等、感染対策にも気を付けていきます。								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				・専門性の高い先生方がたくさんおられるので、同じ質問をしても、色んな角度からアドバイスがもらえ、相談しやすいです。また、職員が共有・連携してくれている。 ・個々にあった対応をしてくれ、保護者にも解説してくれるので、家庭でも活かすことができる。 ・児童への直接的支援ではなく、保護者への指導・助言に重きを置きすぎているように思う。先生から児童への直接的な指導の機会は少なく感じる。	・実際にはお子さんへの直接指導をしていますが、保護者の支援も大切にしていることで、お子さんへの直接的な支援が少ないと感じるのかもしれない。個別活動や食事場面などで、お子さんへの直接の支援を保護者に見ていただいて情報共有やアドバイスができる機会を増やしていきたいと考えています。								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				・先生が一致団結して取り組んでくれている。 ・公表しているホームページが分かりづらい。 通ってない朝は心配で検索しても、知識も無いし不安なので園の様子を見たいけど説明だけで中の様子が見えない。	・ホームページで活動内容を広く知ってもらうために、写真の掲載を増やしました。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。				・適宜フィードバックや成長や課題を共有する場を設けてくれる。 ・こどもの発達状況に合わせた課題を伝えてくれ、保護者が今の子どもに求めていることも汲み取ってくれた上で、無理のない計画を設定してくれている。 ・課題が難しいことがある。 ・面談時間の設定がもう少し長いと嬉しい。	・面談時間については1回1時間以内とさせていただいているので、時間が足りないときは、別日で設定させていただきます。 ・目標設定や課題が難しいと感じられたときや、ご意見があるときは、遠慮無く職員に伝えていただくよう、保護者に伝えました。								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				・こどもの成長の進捗に合わせた計画内容を立てられている。	引き続き、お子さんに必要な支援・必要な項目を選択し、児童発達支援計画を作成するように心がけていきます。								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。				・こどもに合わせた計画を設定し、支援をしていただいていると思う。 ・計画に沿った支援だけでなく、適宜フィードバックもして下さっている。 ・態度いろんな角度からの支援を行ってくれている。	引き続き、児童発達支援計画を示そった支援を心がけていきます。								
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				・グループ活動は、活動内容は毎回違うので、刺激を受けながら取り組める。 ・散歩もこまめに行く場所を変えてくれるので、いろんな道を歩く練習やいろんな公園で身体を動かす練習ができる。 ・買い物ごっこなどこどもたちが楽しみながら生活に必要な経験させてくれる。 ・ルールのある遊びや、リトミック、製作、体を動かす遊びなど、こどもにとって楽しくて刺激のある遊びが沢山あるところがいい。 散歩は、長い距離や初めての道を歩くのが苦手なこどもにとって、難しく感じることもある。年齢や発達に合わせてほしい。	・散歩については、それぞれの発達に合わせた対応は難しく、距離や歩くペース、お子さんのコンディションによっては難しいと感じることがあると思います。必要に応じて職員がサポートさせていただきます。また、体調・コンディションが悪いと感じられた時は、園に残って過ごすことも可能ですので、クラス職員にご相談してもらうように伝えました。									

保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回交流保育に参加できる。また保育所から遊びに来てくれる。</li> <li>・年に数回、保育所交流と一緒に園庭活動があり、普段なかなか一緒に遊べるのではないのありがたい機会だと思ふ。</li> <li>・親としては、比較したくなくても比較してしまう気がするので、あまり乗り気しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から園に保育所のお子さんに遊びに来てもらったり、職員引率で保育所に遊びに行く交流を再開しました。保護者の方はさまざまな思いが加わっていると思いますが、お子さんにとっていい刺激となったり、親子で学びや気づきのある機会にできたらと思っています。</li> </ul>
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの要望を含めて しっかり事前に相談と情報共有していただけた。</li> <li>・わかりやすく、丁寧に説明してくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、わかりやすい説明を心がけて、疑問にも丁寧にお答えできるように努めます。</li> </ul>
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童発達支援計画」を見ながら、わかりやすく説明してくれる。</li> <li>・とても分かりやすく見通しを持ちやすいです。</li> <li>・一対一でしっかり説明してもらえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、児童発達支援計画を示しながら、丁寧にわかりやすく、具体的な説明をおこないます。</li> </ul>
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なテーマで研修会があり、親が勉強する機会が多くある。</li> <li>・研修は頻りにしてくださっており、また休日に両親が揃って参加できる研修の機会もある。</li> <li>・こどもを預かってもらって参加できるのありがたい。</li> <li>・急な欠席の際、後日ビデオや動画で見られるようにしていただきたい。家でも、家族が見られる環境を整備していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者には後日研修動画をみていただく時間を作ったり、ご家族やご親族にも申込制で研修動画を配信させていただきました。</li> <li>・今後も休日の開催や動画配信を実施して、ご家族で学んでいただける機会をつくっていきます。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことがあると、小さなことでもすぐ先生に相談することができる。また、先生のほうから、児童の状況や今後の支援についても適宜お話ししてくれる。</li> <li>・健康面発達面精神面、風邪の前兆等、とても理解してくださっていて、保護者が気づかないことも教えてくれる。</li> <li>・体調や体質、自病のことなど共通理解できていると感じる。</li> <li>・母子通園だが、先生方が積極的に先生から見たこどもの様子を伝えてくれる。</li> <li>・先生たちがとても忙しそうでありゆっくり話す時間がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、お子さんの発達状況や成長、健康面について、保護者の方と確め合い、情報共有を行っています。また、連絡ノートでの情報共有や、電話やメールでの相談も随時受付ていることをお知らせして、保護者が相談しやすいツールを使って発信できるようにお知らせしていきます。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった面談以外にも相談があるとすぐに時間を設けてくださるので心強いです。</li> <li>・面談も定期的に行われ、悩みを親身に聞いてくださる。</li> <li>・お願いすればお時間を取ってもらえるが、お忙しいところ声をかけにくいので、前後期面談以外にも定期面談があるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、定期的な面談と、保護者が相談したい時等に面談時間を設定していきます。</li> <li>・定期面談を増やすのではなく、相談がある時にすぐに対応できるがベストだと考えています。声をかけやすい雰囲気づくりや、職員から声をかけてお話を伺えるように努めます。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポジティブな声掛けをしてくださるので、共感的に支援されていると感じる。</li> <li>・毎日、いろんな先生がひとつひとつ褒めてくれる。</li> <li>・こどもの状況を理解した上で、保護者の想いも尊重して、こどもの支援をしてくれる。</li> <li>・いつも前向きにこどものことをみているので、心折れそうな時も元気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、お子さんや保護者に寄り添い、思いを理解して、共感的に支援していけるように努めます。</li> </ul>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	8	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なつまつりや運動会に兄弟が参加できるのはとてもよいと思う</li> <li>・研修会があっても姉弟の保育があり手厚い。</li> <li>・保護者交流会、OBとの交流会は定期的に開催されている。</li> <li>・保護者交流会では、同じ悩みを持つ保護者の方とお話をさせてもらうことで、新しい視点で考えられるきっかけになり、子どもとの向き合い方等自分の考えを整理できる時間になる。</li> <li>・父親同士、きょうだい同士の交流の機会はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者交流会は、情報共有や共感の場となり、有意義な時間を過ごされているようでよかったです。回数や内容については、皆さんのご意見をもとに充実したものにしていきます。</li> <li>・父親やきょうだいがメインとなるイベントの開催はできていません。実施できる方法や内容を検討していきます。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	4	0	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらが困った状態だと話し合いや対応が速やかにあり非常に心強かったです。</li> <li>・相談や心配事を話す、別の先生も知っているので、担任の先生や担任以外の先生の間でこまめに共有されているのと感じる。</li> <li>・どこまでの内容を共有されているのか、すべて共有されているのか、何気ない会話の中で話した内容も知られていたりするので、気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、相談していただきやすい雰囲気作りを心がけ、相談がある場合には、時間を設定して、丁寧に対応していきます。</li> <li>・職員間で情報共有を心がけていますが、内容によりすべてを共有することはありません。また全職員で守秘義務を徹底します。</li> </ul>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な話をする時は、改めて時間を取ってくださったり、人がいない場所に移動したり、配慮されていると思う。</li> <li>・朝の会やクラス内の掲示、懇親会などで情報の伝達は充分にされている。</li> <li>・連絡帳や会話で意思や要望を伝える事が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、お子さんや保護者と意思疎通や情報伝達を丁寧に行っていきます。</li> </ul>
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信がPDFでの配信なので、内容を確認したい時にどこでもすぐ見る事ができます。</li> <li>・保育だけでなく、色々なことがわかることができます。</li> <li>・さくらだよりを毎月たのしみに行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、毎月のおたよりでは、月間スケジュールをお知らせし、内容の充実にも努めます。また、HPで活動内容を広く知ってもらうために、写真の掲載を増やしました。</li> </ul>	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個室で話す時間を取ってくれる。</li> <li>写真、動画撮影については行事ごとにルールの周知があり、個人情報への配慮が徹底されているなど感じる。</li> <li>個人情報が記載されている書類は厳重に管理されていると感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、個人情報には十分に配慮し、安心して通園していただけるように努めます。</li> </ul>
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月開催訓練がある。こどもにも分かりやすい説明がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員用にはマニュアルは作成していますが、利用者に説明できていないものもあります。利用者が見ることのできるような工夫をして、わかりやすく説明しています。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災、地震、水防の訓練や、防犯についても実施されている。訓練前には、こどもたちに絵本や紙芝居で分かりやすく伝えてきている。</li> <li>実際に消火器を使った訓練がある。</li> <li>定期的な告知ありの訓練、告知なしの訓練などありとあらゆる場合を想定した訓練がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、水害・地震・防犯・火災等の避難訓練を定期的に行います。</li> <li>また、医療的ケア児の訓練の際の個別の対応について職員間で情報共有します。</li> </ul>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレのドアの隙間で指が挟まらない工夫がしてあったり、床のマットも柔らかく、建物の中で怪我をしそうな所がありません。</li> <li>安全に配慮されていると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全を確保するための計画については、各クラスでいつでも閲覧していただけるようにファイリングしています。</li> <li>今後も安全確保に努めていきます。</li> </ul>
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	3	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども同士の関わりの中で、ぶつかったり、手や物に当たった時などはすぐに先生間で共有し、対応。また、母子分離時に発生した場合は、必ず報告してくれる。</li> <li>怪我をした際には必ず看護職員が確認し、迅速に対応してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、事故やケガが発生したときには、速やかに対応・報告を行うように努めています。</li> </ul>
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもも保護者もさくら園と先生方が大好きです。毎朝先生の明るい笑顔に元気をもらおう。</li> <li>朝機嫌が悪くても、さくら園というワードを出すと、穏やかになります。それほど、大好きで安心出来る場所。</li> <li>先生方が皆さん暖かく迎えてくださるので、毎日登園を楽しみにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、お子さんにも保護者にも安心して通園していただけるよう、寄り添いながら、ニーズに合う支援ができるように努めていきます。</li> </ul>
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>園のワゴンがお迎えにくると、子どもも大喜びしている。音段の関わりから信頼関係が築けているからこそだと感じる</li> <li>大好きなプログラムがあり、心の支えになっている。</li> <li>声をかけると丁寧に対応して下さるので毎日色々伝えようとしており微笑ましいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、楽しく通園していただけるように、プログラムの工夫や信頼関係を築ける関わりに努めています。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方が子どもに愛情を注いで、こどもも保護者も、たくさん褒めてくれる。</li> <li>最初は親も一緒に通うことが大変だと思っていたが、一緒に通うことで子どものことを知ったり、日々の成長を実感できて良かった。</li> <li>日頃の悩みなどにも、とても親身になって相談に乗ってくれ、心が軽くなっている。</li> <li>保育所等との併用利用や仕事を理由とした単独登園が出来ない共働き家庭は通うことが出来ない。</li> <li>保護者にも給食を提供してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育施設の併用や保育所との併用については、今後に向けて検討しているところです。</li> <li>保護者の給食提供は調理員2名での対応が難しい状況です。年に2回の試食会にご参加ください。</li> <li>今後も、皆さんに安心して楽しく通園していただけるよう、努めていきます。</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 川西さくら園

公表日 2026年 2月 20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	5	共有の居室をクラス間で調整しながら使用。親子登園で人数が多い日は別の部屋を使用して保育したり、2グループの保育を実施。	お子さんの人数に対して、トイレの数が少ない。年齢や発達別でクラスを分けることが難しい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	2	必要に応じてフリーの職員を配置している。休務の職員がいても、フリー職員の応援がある。	配置基準の職員の人数で対応することが難しい(身体的介助、アレルギー対応、痲痛)が、外部の人には理解してもらいにくい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	3	カードや手順書を活用した視覚支援が充実している。安全に配慮して、おこさんがスムーズに移動できる導線を心がけている。	建物が古く、老朽化している。バリアフリー化ができていない。クールダウンできる専用の部屋や、保育物品を置く収納スペースが少ない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	5	床に敷いているマットは全て新しく交換した。療育後に毎日清掃とおもちゃの消毒を行っている。	屋外に手洗いがある為、冬は寒く夏は暑く歯磨きや手洗いが快適に行えない環境にある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	7	空き居室があれば、使用することも可能。パーティションでスペースを区切って個人のスペースを確保するなど工夫している。	常時個人の使用を認められている専用の居室がない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	4	定期的な会議に関係職員が参加して、こまめに話し合いが行われている。	先の目標を見越した動きが出来ていないことがある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0	児童発達支援自己評価に基づき、可能なことから速やかに改善している。	トイレのスペースの拡充については、毎年改善を求める声があるが、難しい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	3	個人目標シートに、業務目標の設定や資質向上の設定を記入したことに基づいて、園長と面談が実施される。職員が意見しやすい職場。	話し合う機会を、事前に計画されていない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	21	3	外部評価は職員に必ず伝達され、改善に向けて対策が立てられる点	書類等の内容が多く、療育内容についての評価は受けられていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24	0	研修案内を受け、誰もが興味のある研修を受けられるようになっている。保護者研修を動画にとって、後日職員が視聴できるようにしている。	個人に任されているところも多く、参加回数は個人に差がある。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	0	ホームページで公表されている。日々のプログラムは、4週間分保護者にプリント配布している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23	1	保護者の意向を紙に記入してもらい、誰もがニーズがわかるようにしている	お子さんからのニーズを引き出す方法が確立していない。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	1	多職種で評価した上で、計画作成時にはこどもに関わる関係職員による会議のもと、計画を決定している。	将来を見据えて計画を作成しているため、現段階ではこどもの最善の利益だと分かりにくいこともある。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	0	担任や関係職員が集まりクラスごとに会議を行い、共有されている。	集団での生活であるため、個々の計画に細かく添えない部分もある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	3	発達検査の結果や行動観察によるアセスメントにより、適応行動の状況の評価がされ、確認している。	フォーマルなアセスメントのツールが少ない。自分のアセスメントの技術を磨く必要があると感じている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	2	お子さんに合わせて、具体的な目標が示され、具体的な支援内容が設定されている。	全ての支援内容を踏まえることは重要だと思うが、全職員がそこまでの広い視点を持って関わっているとはいえない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	0	各部署ごとに話し合いの時間が設けられていて、こどもの実態と照らし合わせながらプログラムを立てている。	クラスの中で発達の違いがあるため、内容を決めるのが難しい時がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	0	感触遊び等、家では経験できないことを積極的に取り入れている。繰り返し取り組むことは変化をくわえながら実施している。	職員配置により、実施が難しい内容がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24	0	保育、訓練と役割分担しながらも集団、個別の両側面からチームアプローチをしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24	0	前日又は当日の朝の全体ミーティングで業務の確認や分担、職員配置について調整を行っている。	ミーティングに参加できない業務の職員には情報がいきわたらないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	2	職員間の関係がよく、普段から話しやすい環境が整っている。当たり前のように振り返りを行う習慣がついている。	振り返りの時間が長くなることもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23	1	目標に応じた記録を残すように意識している。行動記録を取ることで子どもの様子が把握でき、実際にこどもの対応に役立っている。	時間的に全ての記録を細かくとることは難しい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24	0	半年に一度モニタリングを実施。計画の見直しを行っている。	半年に一度の見直しでは長いと感じることがある。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	0	クラス担任や関係している職員、必要に応じて管理職等、お子さんのことを理解している職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	1	保健師さんと教育機関など連携が取れている。医療的なことも相談できる医師がいるので安心して相談できる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1	進路先の職員に修了前に観察に来てもらったり、引き継ぎをしたり、修了後に訪問に行く等情報共有出を行っている。	保護者同伴通園の重要性、園の特色、強みを生かした療育を大切にしながら、時代のニーズに合わせて、並行通園の実施を検討する必要があると感じる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1	進路先の職員に観察に来てもらったり、学校に行ったりしてお子さんの引き継ぎを行っている。また修了後に進路先に訪問して、情報共有している。	進路先職員がお子さんの実態をわからないまま引き継ぎをするときがあり、うまく伝わらないときがある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	22	2	地域の事業所や学校・園所向けに公開講座を実施している。 各事業所と、ケースを通して連携を図っている。	地域の園所との連携に比べると、他事業所との連携は少ないと感じる。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	0	リハビリは専門家による助言を受ける仕組みが整っている。朝礼で研修の案内があり、希望者が研修に参加できる機会が多くある。	保育内容に関して、直接専門的な指導を受ける場が少ない。外部研修に参加できているが、園内での助言が積極的でない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	22	2	地域の現状を把握する機会になっている。 会議に参加する担当者を決めている。	会議内容が全体周知できていない。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	1	コロナ化を経て今年度から職員引率で近隣の保育所との交流を実施したため、保護者の安心感につながった。居住地地域との幼稚園等の交流も実施。	どのくらいの回数に設定するか、対象年齢をどこまで下げるかなど悩む。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	23	1	保護者同伴登園なので、お子さんの発達状況や課題と一緒に確認している。連絡ノートも活用して、情報共有を行っている。	保護者の思いとずれが生じて、共通理解に至らないこともある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	0	研修やペアトレを実施している。保護者同伴登園なので、日頃から同じ場面で子どもを観察したり、一緒に関わり方を考えている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	0	契約時や入園の際に説明がおこなわれている。	一度に伝える量が多く、伝えられた方にとっては負担が大きいと思う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	0	面談で、お子さんの成長確認しながら、保護者の思いを聞き取ったり、将来を見通した最善の利益と一緒に考えていくようにしている。	お子さんの意思は拾いきれていないことがあるかもしれない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0	個別の面談を行い、丁寧に説明、具体的な場面等も確認している。	面談の時間が長かかってしまうことがある。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24	0	同伴登園なので、日頃から保護者の思いを聞き取れる環境にあり、その都度対応できている。	解決や結果を早く求められることや、悩みの背景にある個人の悩み等お子さんのことに限らないので、時間的に対応が難しい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	3	保護者同士やOBの保護者を交えた交流会を実施して、悩みを相談しあえる機会を設けた。父親が参加しやすい日曜日に参観日や研修会を実施。お子さんへの理解を深めてもらった。	行事に参加できる機会はあったが、年齢に応じてきょうだい同士の交流の形を模索していかななくてはいけない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	0	相談を受けた職員が、関係職員や関係機関と情報共有を行い、迅速に対応。電話や面談などでも、必要に応じて対応。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	2	園だよりを毎月メールで配信。スマホでも確認できるようになった。	個人情報の観点から、配信できる内容は限られる。HPで活動内容が分かるように変更予定。インスタやLINE等のSNSの活用は今後検討。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	0	個人情報の取り扱いは十分注意し、書類は施錠できるところに保管。保護者に対しても、写真や動画撮影に関してルールを定めている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	0	視覚支援を含め、園児や保護者にとってわかりやすい方法で伝えるように工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	12	地域の学生ボランティアや地域の事業所が行事に参加する機会があった。	お子さんや保護者にとって安心できる環境と、地域に開かれた環境(イレギュラーな状況)との両立は難しいところもある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	0	保護者にはマニュアルをいつでも閲覧できるように設置。お子さんにはわかりやすいように紙芝居を作成している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	1	水防、地震、火災などに備えて避難訓練を実施している。また備蓄食も備えている。	業務継続計画について理解できていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	0	看護職員が聞き取りを行い、医師の意見書を元に、対応し、回覧や会議で情報共有がおこなわれている。	入園前の聴き取りではわからなかったが、入園後に分かることもある。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24	0	指示書に基づいて、除去食を提供したり、様々な場面を想定して対応を考えている。給食における、アレルギー児に対する対応がルール化されている点。	アレルギー児が多くなると、厨房や保育室でも給食の取り扱いに最善の注意が必要になる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	0	周知徹底できるよう、年度初めに研修で確認している。救命講習や嘔吐などがあった場合の対応に関する研修を定期的実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	0	写真などで、危険箇所やポイントなどをまとめて掲示物で伝えている。何かあれば必ず保護者に報告している。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	0	事案はすぐに報告・記録し、対策を講じ、また職員会議で伝達される。	会議の中で定期的に報告は上がっているが、ヒヤリハットとインシデント報告の区別が曖昧になっていると感じることがある
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24	0	毎年研修を実施している。 職員間で対応を話し合ったり、事案を報告する場が適宜設けられている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	0	十分に検討した上で、必要と思われた時のみ、となっている点。必要に応じて、ワゴン乗車時のチャイルドシートや肩ベルトの補助など。	